

(別紙様式)

# 平成30年度学校自己評価システムシート ( 県立松山高等学校 )

目指す学校像 建学以来の伝統である「文武不岐」に基づき、幅広い教養と礼節を備え、社会に貢献できる品格あるリーダーを育成する。

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	<p>1 「チーム松高」としての組織的指導力に基づき、生徒の学力向上に努め、進学実績を一層向上させる。 また、SSH事業の円滑な実施とおして、科学技術の発展に伴い、深い学びへ主体的に向かう生徒を育成する。</p> <p>2 自己の在り方生き方を常に考えさせ、心身ともにたくましく、高い目標にチャレンジし続ける生徒を育てる。</p> <p>3 本校の良さを積極的に発信し、保護者・地域・同窓会との「絆」を深め、一層信頼される学校づくりを進める。</p>
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	5名
	生徒	1名
	事務局(教職員)	4名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成 目標を意味する。)は複数設定可。 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標					年 度 評 価 (1月24日現在)			
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等
1	<p>【現状】 国公立大学の合格者数は目標を達成できたが、難関私立大学の合格者数は目標を達成できなかった。学年が上がるにつれて第一志望への挑戦を諦めてしまう生徒が少なくない。</p> <p>【課題】 早い段階からの充実した進路指導、アクティブラーニング等による授業の工夫改善、土曜授業や補習体制の工夫と充実により、第一志望に挑戦し続ける態度を育成することが課題である。 SSH事業の更なる効果的な取組の工夫が課題である。</p>	<p>第一志望実現にチャレンジし続ける生徒を増やし、進学実績を向上させる</p> <p>SSH事業をとおして主体的に学ぶ生徒を育成する</p>	<p>①1年次からの進路ガイダンスや学習オリエンテーション、模試の分析結果の活用や面談等による生徒一人一人に応じた進路指導の実施</p> <p>②新学習指導要領を見据えた教育課程の研究</p> <p>③進学補習「松高塾」の量的増加と質的向上</p> <p>④授業アンケート、アクティブラーニング、授業公開等を活用した授業改善及び学力向上</p> <p>⑤土曜授業の工夫等による授業時数の確保</p> <p>⑥保護者対象進路説明会や進路研修会等による意識の啓発</p>	<p>①国公立大学合格者40人以上、早慶上理GMARCH合格者90人以上を達成できたか。</p> <p>②新教育課程を見据えた教育課程を研究できたか。</p> <p>③「松高塾」の実施回数が増え、質的に向上したか。</p> <p>④「学力の向上や自分の進歩が実感できた」と回答した生徒の割合が増えたか。</p> <p>⑤授業時数が確保できたか。</p> <p>⑥保護者が生徒とともに進路を考える必要性を周知できたか。</p>	<p>【第一志望にチャレンジする生徒が増えつつあるが、更なる指導を行う】</p> <p>①国公立大学に34名、早慶上理GMARCHに46名合格した。(3月27日現在)</p> <p>②来年度1年次について、現行より1単位増の週33単位の教育課程を編成した。</p> <p>③前後期、長期休業中に110講座を実施。英検準1級に1名、2級に13名、準2級に48名合格した</p> <p>④未来を開く「学び」プロジェクト公開授業を実施。本校教員9名が授業を行い、他校の教員が41名参加して研究協議を行った。授業アンケートの指標の結果は、6月73.8%、12月75.1%、高い水準を維持している。</p> <p>⑤土曜授業の課題自習の割合6.1% (前年比0.6%減)</p> <p>⑥6月2日(土)進路説明会を実施。575家庭参加。アンケートの結果「親としてしっかり準備し、積極的にサポートしなければならぬ」という内容の回答が多かった。2月2日(土)研修会実施。283家庭参加。</p>	B	<p>【課題】 ・進学実績のさらなる向上</p> <p>【改善策】 ・主体的な深い学びに向けた指導法の検討 ・松高塾の質的向上と量増加 ・新学習指導要領に向けた教育課程の編成</p>	<p>○高校入学時の学力が本校と同じくらいの高校に比べると、国公立大学や難関私立大学への進学実績が良いということなので、私立高校との競争も激化していると思うが、今後とも進学指導に頑張ってもらいたい。 ○授業を見学して、生徒の自主的な取組や質問する態度が素晴らしいと思った。今後とも自分で考えて答えを見つける環境を作ってもらいたい。 ○松高塾については、今後とも生徒のニーズに合った講座を開講してもらいたい。</p>
2	<p>【現状】 多くの生徒が基本的な生活習慣を確立しており3年間皆勤者も多く、来校者や教職員への挨拶もよく行われている。3年生になっても80%以上の生徒が部活動に加入しており、県の上位はもとより全国一を目指す生徒が多い。</p> <p>【課題】 登下校のマナーの改善、教育相談体制の充実、部活動指導体制の維持が課題である。</p>	<p>諸活動をおおして心身ともにたくましい生徒を育成する</p>	<p>①全教職員による全体指導及び個別指導を通じた規範意識の確立</p> <p>②全教職員による計画的な登校指導、高校生の自転車安全運転推進講習会による交通マナーの向上</p> <p>③生徒アンケートや日頃からの生徒観察による安心安全な学校生活の保障</p> <p>④教育相談体制を充実させ、SC、SSW、特別支援コーディネーター等外部機関との連携</p> <p>⑤生徒会行事の内容の充実及びボランティア活動等への積極的な取組</p> <p>⑥一層緻密な指導体制の確立による部活動のさらなる活性化</p>	<p>①整容指導の実施(3回以上)と個別指導により規範意識は育成できたか。</p> <p>②登校指導(10回以上)、高校生の自転車安全運転推進講習会により交通マナーが向上したか。</p> <p>③いじめ・問題行動は、100%解決できたか。</p> <p>④生徒相談委員会を実施して情報の共有を図りSC、SSW、特別支援コーディネーターと効果的に連携できたか。</p> <p>⑤生徒主体による学校行事やボランティア活動の取組が充実したか。</p> <p>⑥全国・関東レベルの大会へ10以上の部活動が出場したか。</p>	<p>【諸活動をおおして心身ともにたくましい生徒を育成できた】</p> <p>①整容指導を3回実施した。組織的に規範意識育成に努めているが、生徒指導案件が3件増えた。</p> <p>②登校指導を10回実施。9月に自転車安全運転推進講習会を実施。外部からの苦情は減少している。</p> <p>③いじめアンケートを2回実施。いじめと認知した事案は発生してない。</p> <p>④生徒相談委員会を13回実施して情報の共有を図った。SCの相談は60件、SSWの活用は3件であった。生徒が自分の問題に向き合って学校生活を送るきっかけとなった。</p> <p>⑤生徒会・実行委員会が主体となって松高祭を企画・運営し、4043名の来場者があった。また、生徒会、応援団、部活動の生徒がボランティア活動を行った。</p> <p>⑥全国・関東レベルの大会へ7つの部活動が出場した。</p>	A	<p>【課題】 ・生徒指導体制の更なる充実</p> <p>【改善策】 ・生活指導の充実 ・生徒相談体制の充実 ・部活動指導体制の維持</p>	<p>○全体的に見ると、生徒は挨拶もしっかりでき、きちんとした服装をしていると思う。 ○スクールカウンセラーについては、専門的なアドバイスの他医療機関との接続もしてくれるので、今後とも活用して欲しい。 ○部活動の活躍は、中学校でも高く評価している。今後とも頑張ってもらいたい。</p>
3	<p>【現状】 HPによる情報発信、東松山市及び地元小中学校と連携した様々な行事の実施など開かれた学校づくりを行っている。</p> <p>【課題】 H30年度入試の志願倍率は普通科が1.13倍、理数科が2.08倍であった。中学生が減少する中、選ばれる学校づくりを進める必要がある。入試倍率を普通科1.20倍以上、理数科2.20倍以上になるように取り組む。</p>	<p>積極的な情報発信、外部との連携強化をとおして、入試志願倍率を向上させる</p>	<p>①毎授業日にHPを更新し、学校の「良いところ」の積極的な情報発信</p> <p>②体験授業や部活動等をおとした地元小中学校との積極的な連携</p> <p>③地域の行事に積極的に参加することによる地域との連携強化</p> <p>④支部別PTA等をおとしたPTA・後援会・同窓会との連携強化</p> <p>⑤日程と内容の工夫による学校説明会や個別相談会、体験授業の充実</p> <p>⑥塾主催の説明会への積極的な参加、塾訪問や塾対象学校説明会による生徒募集強化</p> <p>⑦生徒・保護者対象のアンケートの実施(新規)</p>	<p>①毎授業日にHPを更新できたか。アクセス数はどのように変化したか。</p> <p>②小中学校との連携行事や中学校へのPR活動を積極的に行ったか。</p> <p>③地域の行事に積極的に参加したか。</p> <p>④PTA・後援会・同窓会と緊密に連携できたか。</p> <p>⑤学校説明会等の参加者が増加したか。</p> <p>⑥塾主催の説明会へ積極的に参加できたか。また塾訪問や塾対象学校説明会を実施できたか。</p> <p>⑦生徒・保護者対象のアンケートが実施できたか。</p>	<p>【情報発信、外部との連携強化が生徒募集に好影響を及ぼしている】</p> <p>①毎授業日HPを更新して生徒の活躍などを発信した。アクセス数は、約910件/日であった。</p> <p>②松一小理科教室、親子理科教室を実施。市内中学校を対象に学校説明会を実施した。</p> <p>③スリーデーマーチ、愛の一声運動、ごみゼロ運動等、東松山市主催の行事に生徒・教員・保護者が参加した。</p> <p>④比企一周駅伝では、494名の保護者の協力を得た。同窓会から部活動、SC、海外研修等に対して多大なる御支援をいただいた。</p> <p>⑤学校説明会への参加者数は、昨年とほぼ同数の1466名であった。</p> <p>⑥塾主催の説明会・個別相談会には、ほぼ全て参加した。また、全教員で200以上の塾を訪問した。さらに、塾対象学校説明会を2回、サテライトを2回実施した。</p> <p>⑦12月に全生徒・全保護者対象の「学校評価アンケート」を実施した。今後、学校改善に役立てる。</p>	A	<p>【課題】 ・積極的な情報発信 ・外部との連携強化</p> <p>【改善策】 ・広報活動の工夫・改善 ・小中学校や学習塾との更なる連携強化 ・PTAや同窓会との更なる連携強化</p>	<p>○日の設定の仕方やPRの方法を工夫して、授業参観に来校する保護者を増やして欲しい。 ○本校の保護者が、文化祭の時に中学校の保護者に本校の良さをPRする機会を設けて欲しい。 ○近隣の新しい住民や高崎線沿線の住民などに松高の良さをPRして欲しい。 ○比企一周駅伝での途中経過をHPでリアルタイムで伝えてくれたのは良かった。</p>

